

報告日 令和8年1月23日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	中津市役所			代表者名	鳴 良彦
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	情報デジタル推進課		連絡先電話番号
担当者役職	主幹(総括)	担当者氏名	中尾修大		連絡先E-mail
住所	8798501 大分県中津市豊田町14番地3				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	デジタル人材育成研修事業	
概要	総務省が発出した「人材育成・確保基本方針策定指針」の高度専門人材の育成向けたプログラムの一環として、選抜した職員を対象に研修を行う。本研修において、時代に即したDXやデジタル化の潮流や専門知識について助言いただきたい。			
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成)			

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無	282K			
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和8年1月20日	講演(実地)	13時30分	15時30分	
2-2. 派遣場所	会場名	中津市役所 本庁舎	最寄駅	中津駅	
	所在地	大分県中津市豊田町14番地3	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中窪 悟
評価	大変良い
上記評価の理由 (どのようにと ころがよかったです か等詳細に)	DX人材育成プログラムの一環として、新たに高度専門人材向けの研修目的に沿った内容を提供してくれて、参加者が大変満足してくれたためです。 「なぜ、DX推進が必要なのか?」、「デジタル人材の組織内におけるプレゼンス」など学ぶ点が多く、今後の研修に向けて意識が高まり一定の効果がありました。
アドバイザー への要望事項	特にございません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】		合計人数	12人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	11	0	0	1

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	<p>[現状] 令和3年度よりDX推進を全庁的に取り組んでおり、特にサービス内製化を軸にデジタル人材の育成を行ってきました。DXの裾野が広がる一方で、情報部門やDX部門の属人化が顕著になってきていました。今後は、アプリ開発やインフラ整備、セキュリティ対策などの高度な専門知識の有し、次世代を担うデジタル人材を育成が急務です。</p> <p>[課題] DXやネットワーク、セキュリティに精通する職員の持続的な育成</p>
---------------------------	---

支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	令和8年3月までにNakatsu DX Universityを開催し、5名（実績:8名）を育成します。 その初回に特別講義をいただき、参加者のマインドセットの醸成に繋げたいです。 高度DX人材育成プログラムは毎年実施し、高度DX人材の育成を継続する予定であることから、人材育成プランの最終目標数および年度を下記のとおり設定予定です。 【目標達成時期】 ①Nakatsu DX University（第1期）終了▶令和8年3月 ②高度DX人材の育成職員数10名程度達成（※中津市人材育成プラン策定作業中のため概算を明記）▶令和12年3月
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	Nakatsu DX University [DAY1]において、高度DX人材を目指す職員に対して、特別講義をいただきました。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	Nakatsu DX University参加者の気づきや行動促進につながり、今後の専門知識の習得や実践に繋がったと認識しています。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <input type="checkbox"/> ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない [Nakatsu DX University]は、全7回（3月上旬まで）継続した研修であり、今回の講演は初回に行つたため最終的な成果は未定です。一方で、内製化した研修の中で初回に外部人材として中窪氏が講演してくださったことで参加者のマインドセットが確実にできた印象です。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今後も[Nakatsu DX University]が続くため、現時点での改善点はありません。 今後は本事業を継続して実施し効果検証を行うことで、今後の人材育成プログラム全体のアップデートに繋げていきます。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 受講者アンケートの結果を添付しています。ご確認ください。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい <input type="checkbox"/> ④予算以外で、今後取組む事項がある 仮称）中津市高度DX人材育成プログラム（第1期）を改め、[Nakatsu DX University]として1/20から全7回（3月上旬まで）を計画しており、今後も高度な知識と実践を習得する予定です。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	本事業が最終的に目指す姿は、本市における情報政策及びDX推進を牽引する者として育成することです。今年度の研修プログラムの効果検証を行い、次年度以降もアップデートを行う予定です。

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ○掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

